

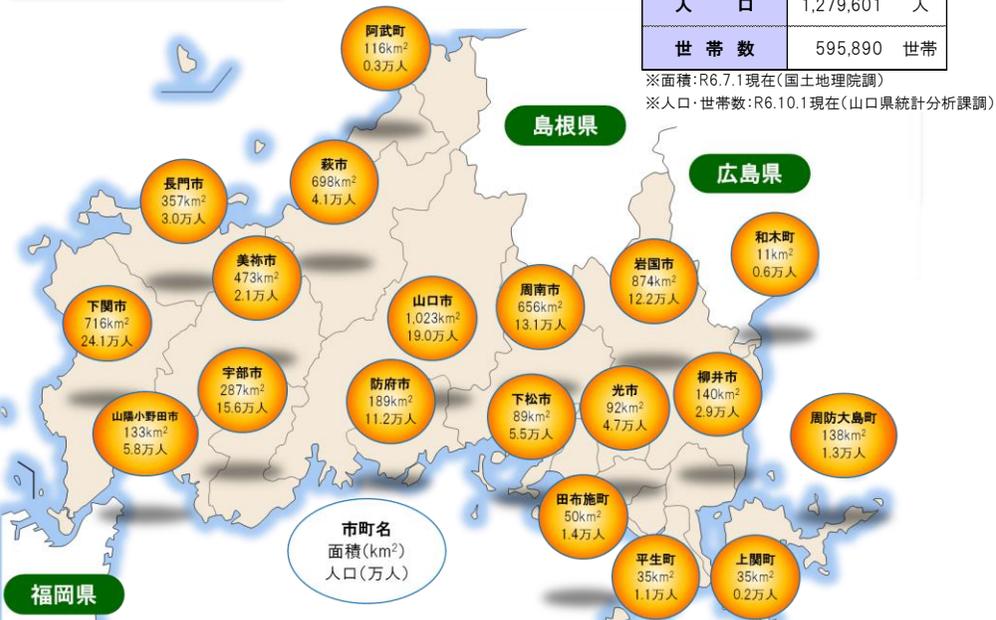


## 山口県の地勢・概況

山口県は、アジアに近接し、古くから大陸との交流の窓口の役割を果たすとともに、本州と九州、四国を結ぶ交通の要衝にあり、国土構造上重要な西日本の結節点に位置しています。中央部を中国山地が走り、日本海、響灘、瀬戸内海と三方が海に開け、多彩で豊かな自然に恵まれており、本県の産業、生活、歴史・文化は、この豊かな環境から多くの恵みを受けながら育まれました。

令和6年10月1日現在、本県の人口は約128万人、面積は約6,113km<sup>2</sup>となっており、13市6町で構成されています。地方中枢都市である広島、福岡・北九州等に隣接し、活発な交流が行われている一方、中核となる都市がなく、中小都市が分散する都市構造となっています。

### 市町別面積・人口



面積	6,113.00 km <sup>2</sup>
人口	1,279,601 人
世帯数	595,890 世帯

※面積：R6.7.1現在(国土地理院調)  
※人口・世帯数：R6.10.1現在(山口県統計分析課調)

## 山口県のシンボル



### 鳥 ナベヅル

周南市八代に10月飛来、3月に去る。鳥獣審査会選定。(昭和39年10月13日指定)



### 魚 ふく

県内で水揚げされる魚の代表種であり本県の歴史とのかかわりも深い。県の魚選定委員会が選定(平成元年8月26日指定)



### 木 アカマツ

県内いたるところにあり、県を象徴するにふさわしい。県木審議委員会が選定。(昭和41年9月14日指定)



### 獣 ホンシュウジカ

華山、天井嶽周辺に主として生息している。鳥獣審議会選定。(昭和39年10月13日指定)



### 花 夏みかんの花

日本では山口県が原産地である。郷土を象徴する花としてNHKが選定。(昭和29年3月22日発表)

## 主な観光地



### 観光客数 (単位:人、%)

R5	31,025,606
R4	26,625,160
前年増減	4,400,446
前年比	116.5

(山口県観光政策課)

主な河川			主な湖沼			主な山岳		主な島	
河川	流域延長 (km)	流域面積 (km <sup>2</sup> )	湖沼	満水面積 (km <sup>2</sup> )	最大水深 (m)	山岳	標高 (m)	島	面積 (km <sup>2</sup> )
1 錦川 (二級河川)	110.3	884.9	1 常盤湖	0.81	10.4	1 寂地山	1,337	1 屋代島	128.49
2 阿武川 (二級河川)	82.2	694.8	2 長沢の池	0.31	5.0	2 右谷山	1,234	2 平郡島	16.56
3 厚東川 (二級河川)	59.9	405.3	3 万年池	0.26	8.6	3 小五郎山	1,162	3 青海島	14.82
4 佐波川 (一級河川)	56.5	466.0	4 青海湖	0.24	2.0	4 羅漢山	1,109	4 長島	13.69
5 厚狭川 (二級河川)	43.9	251.8	5 江汐池	0.14	8.0	5 弟見山	1,085	5 笠戸島	11.66